

問 水門・防潮堤の進捗は しんちよく

答 本体工事は完成



議員 清 新 生 会 (新 生 会)

問 岩手県は、東日本大震災の被害を踏まえ、先頃「千島海溝・日本海溝を震源とする巨大地震」について「津波浸水想定」を発表したが、当町の東日本大震災以後に建設を進めている水門や防潮堤の進捗はどのようになっているか。県は津波浸水区域を示したが、県工事が遅れているのはどのような原因によるものか、また完成はいつ頃になるのか。



残る工事も早期完成を

ろ、想定外の支障物による基礎工事の工法変更や、隣接する別事業との調整対応等によるものである。いずれの施設も現時点において本体工事は完成しており、付帯工事についても本年度末の完成を目指している。

問 今後の危機管理体制は

答 学校・集会施設などが指定

問 冷戦時代に、核戦争の脅威を身近に感じたヨーロッパの国々には、地下避難施設や核シェルターが完備され、地下鉄や地下施設を防空施設として活用できるように工夫されているようだ。日本全国には9万4125カ所の避難に活用できる施設があると報道見たが、具体的にはどのようなもので、仮に町が攻撃を受けた場合、避難に活用できる場所や施設は何力所あるか。

町長 武力攻撃事態等が生じた場合における避難施設は、国民保護法により都道府県知事が指定することとされており、本町では、現時点で、学校、旧学校施設や集会施設など18カ所が指定されており、これらの施設を町ホームページで公表している。

問 陸上養殖の可能性は

答 未利用地の活用手法の一つ

問 例えばバナメイエビは、世界的需要が見込めると思うが、東日本大震災後の復興事業によって生じた未利用地を使った陸上養殖は可能か。

町長 バナメイエビの陸上養殖の可能性について、バナメイエビは身近な食材であり、世界的な需要が見込まれる魅力的な食材であると認識している。未利用地の活用手法の一つと考える。

その他の質問

- ◆ 人口減少問題は
- ◆ 観光の対策は
- ◆ 送迎バスの置き去り事故対策は